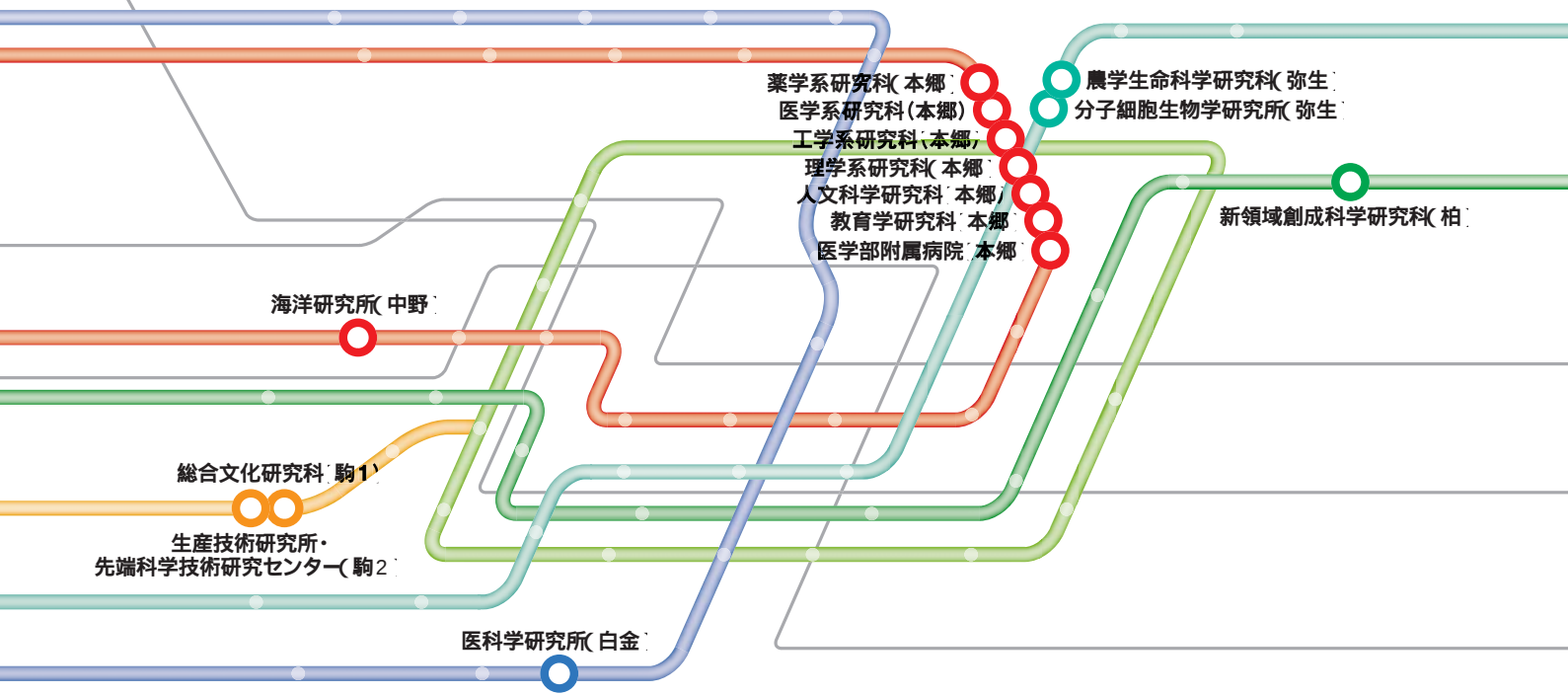




「東京大学の生命科学」シンポジウム

2004年12月4日SAT 10:00~17:20

21世紀に入り、様々な生物のゲノム解読が進み、生命科学は大きな飛躍の時期を迎えています。東京大学では、10を超える学部、研究所において多様な生命の研究が進められています。地球上の生命の多彩な広がりやその不思議から人間の病気や心理にいたるまで、東大の様々な領域の研究者から、最先端の話をわかりやすくご紹介するシンポジウムを開催します。多くの学生、院生、教職員の方の参加を期待します。

- 会場 / 本郷キャンパス 安田講堂 ■後援 / 東京大学学術企画室
- 主催 / 「東京大学の生命科学」シンポジウム実行委員会(委員長 教養学部長 浅島 誠)
- 参加費 / 入場無料 URL: <http://bonsai.ims.u-tokyo.ac.jp/biout/>

P R O G R A M

10:00-10:10 ■開会挨拶
副学長 小宮山 宏

<座長 長棟 輝行(工学系)>
10:10-10:30 ■脊椎動物の器官形成の仕組みをさぐる
教養学部・総合文化研究科 浅島 誠

10:35-10:55 ■海にいきる仕組みを探る: ホルモンと浸透圧調節を中心に
海洋研究所 竹井 祥郎

11:00-11:20 ■感じる血管、考える血管、行動する血管
先端科学技術研究センター 児玉 龍彦

11:25-11:45 ■道管: 植物の血管を科学する
理学部・理学系研究科 福田 裕穂

11:50-12:10 ■人体の複雑系ゆらぎとホメオスタシス
教育学部・教育学研究科 山本 義春

12:15-13:15 ■休憩

<座長 長澤 寛道(農学系)>
13:15-13:35 ■生体内ネットワークの解明: 構造プロテオミクス
薬学部・薬学系研究科 嶋田 一夫

13:40-14:00 ■DNAメチル化を中心とした個体発生のエピジェネティクス
農学部・農学生命科学研究科 塩田 邦郎

14:05-14:25 ■RNAにおける転写後修飾の役割と疾患
工学部・工学系研究科 鈴木 勉

14:30-14:50 ■原子構造が明らかにするカルシウムポンプのメカニズム
分子細胞生物学研究所 豊島 近

15:00-15:30 ■コーヒーブレイク

<座長 大矢 禎一(新領域)>
15:30-15:50 ■驚異の脂肪細胞: 生活習慣病のからくり
医学部附属病院 門脇 孝

15:55-16:15 ■遺伝子から生命を作る
新領域創成科学研究科 上田 卓也

16:20-16:40 ■ストレス応答系MAPキナーゼ: 酵母からヒトまで
医科学研究所 斎藤 春雄

16:45-17:05 ■免疫応答における時空間制御の仕組み
医学部・医学系研究科 谷口 維紹

17:10-17:20 ■閉会挨拶
副学長 桐野 高明

17:30- ■懇親会
会場 / 山上会館地下食堂「御殿」
参加希望者はメールまたはFAXでご連絡ください。
doi@lsbm.org / FAX: 03-5452-5232